

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

=ホームページにカラー版を掲載中!=

こぶし

第 140 号

2014年 8月21日発行

発行責任者：横井 正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9

年 2 回 発 行

E-mail: kobusiza@wing.ocn.ne.jp

http://www18.ocn.ne.jp/~kobusiza/

主な内容

- (1) 公演報告 (寄稿)
- (2) 寄磯浜・野田村公演を終えて
- (3) 「矢白別平和盆おどり」報告
- (4) 第16回通常総会の報告
- (5) 今年の公演計画 ほか



暑いー夏!!

たくさんの勇気と元気に 励まされて…。

これから

出会いを求めて
あなたの街へ!!



皆様、お元気ですか？
この夏の猛暑や局地的な集中豪雨…。お住まいの地域は大丈夫でしょうか。予報では、秋の訪れが遅いとのことですが、こぶし座の周辺は涼しい風が吹き始めて、一足早く秋の気配を感じています。また、先月の後半には、シベリア森林火災の影響によるとみられる「煙霧」で、焦げた臭いを伴うどんよりとした天候が続きました。改めて、中国発のPM2.5の問題も含め、世界中が繋がっていることを実感すると同時に、このところの異常気象も、実は地球規模での人為的なことが起因している現象なのではと、いたたまれない想いを強くしています。

さて、今年度のこぶし座は、2つの特別事業を計画して、①5月21日〜27日にかけて、昨年からの準備を進めてきた「寄磯浜・野田村」公演を実施。そして、②8月8〜10日には、「矢白別平和盆踊り」へ参加して来ました。どちらの催しについても、その地に暮らし、平和な営みを続けようと頑張る人たちの真摯さに触れ、『人間らしく生きる』ことの素晴

*

らしさと大切さ、また、現実の厳しさと大変さを肌で感じるものとなりました。

震災からの復興、原発の再稼働、消費税率アップ、集団的自衛権の政府解釈、等々。身の回りを見渡せば、私たちが庶民が切望する、安心・安全・平和な暮らしの実現は、極めて困難に映ります。しかし、だからこそ！時代に向き合い、生きづらい社会に明るく抗し続けねばと、座員一同決意を新たにしています。

皆様、どうぞお元気で!!

暑中お見舞い 申し上げます。



こぶし座「青空農園」の新鮮な野菜たち。
農作物の成長が、生きる力の後押しに!!

前半期の一般公演(六、七月の開催)、

全6カ所の公演地を代表して…

上川管内・中富良野町と日高管内・平取町、
行動力抜群の元気なお二人からの報告です。

「なかまーる」落成記念
こぶし座公演より
文化協会役員・前野仁志

町の福祉と教育を総合的に
運営する目的で、本年四月に
完成した総合センター「なか
まーる」。この施設は社会福

祉協議会、デイサービスセン
ター、福祉課などが一階に、
図書館、各種文化活動室、教
育委員会が二階に入居し業務
が開始された。

落成式典は簡素にして町民
に完成のお披露目とお祝いを
兼ねた記念事業に対し予算が
計上された。

記念事業の計画、実行には
文化協会が中心となり一般町
民と成る落成記念事業実行委
員会が組織された。

子供からお年寄りまで町民
が楽しめる記念事業を目指し
議論を重ね、その結果八事業
が決定した。そこで最初の決
定が「こぶし座公演」である。

また、お祝いにふさわしい
「江差のもちつきばやし」を
有志五名が演じる事となり、
老体にむち打ちながら練習を
重ねた。

六月八日、「こぶし座」の



「まだまだ、現役!!」
街づくりは俺たちの手で…。

魅力を知る町民、約四〇〇人
で会場を埋めた。

本町は農業が基幹産業の町
である事から「豊年(こいこい)」
はじめ伝統芸能の数々に町民
はうなずき歓声をあげて居
た。

最後は「江差のもちつきば
やし」だ。笛、太鼓のお囃子
で「ヨイヤーマカセヨイヤマ
カセー」、軽快で力強い踊り
を披露した。

会場を埋めた町民は、お馴
染みの顔ぶれの出演に一段と
盛り上がり、最高の落成記念
事業となった。

実行委員一同は感動と盛会
に感謝し、心地よい疲労感と
満足感に包まれた。

団員の皆さま有難う御座居
ました。今後も沢山の人を楽
しませてください。

平取地区連合

「地域に顔の見える活動」

こぶし座のみなさんと

副会長・白戸達也

7月に、4年ぶりとなる「こ
ぶし座・平取公演」を実施し
てもらいました。

平取地区連合は、役場等職
員、道職員、教職員、郵便局、
道南バス、森林管理署の労働
組合で構成されていますが、

平取地区連合と言っても、町
民の方には労働組合の集まり
位にしか思われていないの
で、近年は「地域に顔の見え
る活動」として、町内のごみ

拾い、労働講座と題しての各
種講演会などを積極的にに行っ
ています。

そして、本年はこぶし座の
皆さんを招聘し、TPP 反対を訴
えている平取町・JA平取と

平取町教育委員会の後援もい
ただき、7月3日はバチラー
保育園、4日は中央公民館、
5日は特別養護老人ホーム

「かつら園」において開催す
る運びとなりました。

一般公演の終盤では、組合
員による出し物―「江差のも
ちつきばやし」もあるので、

踊りを覚えるのに二日間の特
訓を経て、本番を迎えました。
会場である中央公民館には
200名もの町民の方が見に
来ていただき、椅子を追加す

るほどの大盛況で組合員の緊
張もピークに！しかしなが
ら、平取地区連合の精鋭達は
練習の成果をいかんなく発揮
し、餅つきと餅まきの大役を
務め上げ、割れんばかりの拍
手喝采を浴びました。

こぶし座の皆さんの「豊年
こいこい」で今年も平取町の
農業は豊作間違いなし！来場
された皆さんも獅子頭に噛ま
れたので幸福が訪れること
でしょう。

公演を見に来ていた町民の
方からは「前回の公演を覚え
ていたので、今回も楽しみに
してたんだ」、「こぶし座の
人のサインはもらえるのか」等
々、反響が大きかったです。

こぶし座の皆さんの公演を
通じ、平取地区連合と地域の
皆さんの距離感が縮まった瞬
間でした。

4年に一度の公演会、サッ
カーW杯イヤーに合わせて今
後も実施していきたいと考え
ています。



「お疲れ様…。楽しかったヨ～!!」
沢山の一般町民が来場してくれた。

まなぶ

「峰延東傘踊り」を取材して
…鈴音響かせ華やかに…

美唄市峰延地区の「夏祭り」
に伺ったのが二年前の八月。

シャン・シャン・シャン
鈴の音を響かせ、きらびやか
な番傘を操り華やかに踊る女
性たちの姿に魅せられ、楽し
いひと時を過ごした。祭り会
場で前会長の宿南正夫さんに
お目にかかり、お付き合いが
始まりました。

「峰延東傘踊り」は大正時
代の始め、鳥取県からの入植
者が伝えたもので、「因幡の
傘踊り」を基にした民俗芸能
です。

当時十人程の若者達が先輩
から踊りを習い覚え、畑作の
作業中にも鍬を振り回して技
を磨き、電気も無くカンテラ
の灯りを頼りに番傘に飾り付
けをして、唄いながら踊った
のだそうです。

遠い故郷を偲び、部落の集
まりや祭り事にはお祝いの踊
りをお盆には初盆の家をま
わり供養の踊りを、干ばつの
時には雨乞いの踊りを受け
継がれ、地元住民の心より
所となつて郷土芸能へと育て
られてきたのです。

戦争やその後の世代交代で
途絶えそうになりながらも継
承を続け、一九九〇年に保存



「貝殻節」の曲にあわせて
…地元の小学校体育館

会を結成復活させ、鳥取県に
も足を運び伝統的な踊りの手
ほどきを受け、現在に至って
います。

現会長を務める矢部幸夫さ
んの祖父が、入植当時中心に
なつて踊りを継承した若者の
一人なのだそうです。五代目
となる小学生のお孫さんも含
め家族ぐるみで保存会の活動
に励んでいます。

今年の二月と六月に峰延地
区を訪ね、念願の「傘踊り」
を教えて頂きました。

踊り手である矢部亜紀子さ
ん(奥様)の丁寧なご指導の
もと、鳥取県の民謡「貝殻節
・きなんせ節」に合わせて傘
を回し、手や足の動き傘の角
度を確認しながら、何度も何
度も同じ動作を繰り返しまし
た。

意志のある確かな鈴音をめ
ざし、稽古を重ね、また伺い
たいと思っています。

【創演部・計良正子】

今年度の特別事業「寄磯浜・野田村」公演を終えて：
 「寄磯ばやし」のふるさと—石巻市寄磯浜。昨年7月に交流した実業団メンバーの想いが実り、熊野神社祭典前夜祭として公演が実現！
 岩手・野田村での公演も合わせ、お伝えします。

△宮城・石巻市寄磯浜公演▽
 祭典前夜祭の公演会場は、寄磯小学校体育館。ここは震災時200人を越える人たちが避難生活を送った場所だ。
 祭り準備で多忙な実業団の面々、真っ青な海を見下ろす体育館で私たちを出迎えてくれた。変わらぬ笑顔に再会の喜びがこみあげ思わず握手。
 仕込み途中、団員三名を加え江差のもちつきばやしの練習。約一時間でどうなることかと思ったが、おみごと！お正月の獅子ぶりでは、太鼓を叩き笛を吹きと、芸能に携わっている若者たち、ポイントをつかみすぐ覚えかけ声も。いよいよ開演、屋台のいい匂いが漂う中、座布団を抱えたお母さんや、ほろ酔いかげんのお父さんたちも来場。手拍子、合いの手、笑いで盛り上げてくれる。

最後のもちつきばやしは客席から声援が飛び交い大成功だったの言うまでもない。
 翌日、本祭を見学。
 御輿巡行の際の担ぎ手、演奏はもちろんの事、チーム対抗舟漕ぎレース等々どこを見ても実業団が大活躍。大役の天狗は団長、衣装に身を包み練り歩く姿は堂々たるもの。汗だくになり身を粉にして活躍する姿に、寄磯浜の歴史にふれたような気がした。
 また、滞在中に牡鹿地区保育所と給分浜仮設集会場でも小公演を実施した。
 ＊明るく元気な子どもたちで、次々と反応が返ってくる。お獅子に頭をかまれる代表にハイ！と手を上げ名乗り出してくれたのが、寄磯浜実業団副団長の長男。さすが！
 ＊仮設住宅の一角にある小さな集会場。玄関の張り紙には何十人もの不明者。発見の記載がない人も；胸が痛む。三十人程の人たちにひと時を楽しんでもらう。「ありがとう」の笑顔に、がんばって…と願わずにいられなかった。
 △岩手・野田村公演▽

こぶし座の友人である新山康弘さん（機関紙138号でも紹介）が教育委員会の全面的なバックアップをもらい準備してくれた。
 獅子舞の最後に「復興祈願」の垂れ幕。湧き起こった拍手。

「あの時の拍手が今のみんなの気持ちなんだ。こぶし座やって良かったな！」新山さんの言葉が胸に残る。
 翌日は野田村保育所公演。再会を楽しみに待っていてくれた子どもたち。弾けるような笑顔が嬉しい。最後にはありがとうの色紙をプレゼントしてくれた。
 §
 復興への道のりは長く険しい事を実感。現実と向き合い日々を生きる人たち、祭りや芸能を通して絆をつくり、深め、地域の復興に力を尽くしている人たちの姿に人間の強さを見た。
 函館に戻り、日々の活動に追われていた私たちに、先日、野田村保育所の子どもたちから「ありがとう」の暑中見舞いが届いた。
 ホツとひと息。元気の燃料補給で、さあまた、前進！

【公演部・松岡智恵美】
 《寄磯実業団との文化交流のため、北海道文化財団・事業助成を受け実施》
 「おめえも出るっちゃ！」
 「俺はダメダメ、恥ずかしい…」
 【手遊び交流の一場面】



もう一つの特別事業—
 第五十回記念
 『矢白別平和盆おどり』
 設営隊として事前準備から参加した、中尾雄児の報告です。

南北十キロ東西二八キロの日本最大の自衛隊演習場のど真ん中に、平和盆おどりの会場・川瀬牧場がある。
 「私はここに居たいのです」と、自衛隊の買収を拒否した川瀬二の意志を継ぎ、浦舟三郎さんと渡辺佐知子さんが暮らしている。国道からの五キロの間には民家もなく、暮らし続けることが基地反対の砦になっている。
 平和盆おどりは今年五十年、戦争する国づくり許さず北からの安保闘争を巻き起こそうをスローガンに掲げ、平和の砦としての重みを増している。こぶし座も来年には五十年の節目を迎えるが、この大きなうねりに連帯しようと全員で参加した。
 ＊

私は五日からの設営に参加したが、宿泊所となるD型ハウス（矢白別ホテル）は、柱と基礎が補強され、盆おどりの櫓も新しく大きくなっていて大仕事は既に終わっていた。現地の意気込みが心に響く。設営には、酪農民や教員など地元の人だけでなく、東京

や埼玉から駆けつけた人もいて、矢白別の広がりを感じた。作業は二十〜三十人で、開会直前まで行われ、私は会場案内の旗や看板立て、テント張りや布団運びに加わった。
 汗まみれに働くことで連帯感が生まれ、大会成功への気持ちが高まっていった。
 ＊

九日、いよいよ本祭。ぐずついていた天気が一転し爽やかに晴れあがった。広葉樹林に囲まれた会場脇の広い駐車場が参加者たちの車で埋まり、全国からのバスツアー参加者も次々にやって来る。
 開会集会は「新曲さくら」の合唱で開幕。主催者らの挨拶をうけ、公演部も演奏参加した構成詩『矢白別の原野高く』が繰り広げられた。
 （構成・演出—伊藤俊雄氏）
 花火打上げ後、松平晃さんのトランペットの音が夜空に響き渡るなか、かがり火点火。そして参加者全員が心ひとつに「北海盆おどり」の輪をつくる。座は、盆おどりやステージ交流での演奏のほか、現地要請を受けた街頭での宣伝活動なども行った。
 私が心に刻んだのは、畑田重夫氏が「集団的自衛権で戦争がおこり徴兵制が復活される。諸悪の根源安保条約を破棄しよう」と強調されたこと。

沖繩の方は「負担軽減と称し海兵隊の本土移転訓練が行われているが、沖繩の負担は増え続け、辺野古では埋め立てが強行されている」と怒り、静岡の方は「海兵隊の演習が行われると四億円が地元におちる」と、血税の浪費は不当と訴えていた。
 当初から平和盆おどりを取り組んできた三宅信一氏は、「六十年を新安保条約とすれば、今は新安保条約と考えば、今は新安保条約と考えなければならぬ」と、新しい視点を教えてくれた。
 このままでは戦争になる。何としても安保条約廃棄・憲法遵守を！という気持ちを新たにしたい。みんなが共感しあえる芸能を広めることが反戦平和になると確信し、一層こぶし座で頑張っていく気持ちになった。

8月/第五十回記念『矢白別平和盆おどり』
 全国から平和を願い、延べ1,400名が集結した。





5月/田植え(澤谷さんの田んぼ)
昨年に続き、手植えで手伝い…。(!?)
暑さのり越え「豊年こいこい」!



7月/学校公演スタート!
札幌・豊園小の元気な子ども達



5月/野田村公演
138号登場の新山君の
お母さん(左)とお友達。

思い出アルバム

前半期編



6月/登別市公演にて…
懐かしい方との21年振りの再会。
〈山口さんご夫妻(お孫さんと)〉



7月/第10回・札幌講座
恒例となった笛・太鼓の講座
幼稚園や保育園を代表して



5月/寄磯浜『熊野神社』祭典より
「震災の復興は、俺たちの手で!」
伝統行事も「実業団」が核に…。



故・川瀬夫妻の記念碑



8月/『矢白別平和盆踊り』
三日間を過ごした座のテント村(!?)

【今年の公演計画】8月~12月

〈一般公演〉

- 10/04(土) 函館市・函館大学体育館
- 06(月) 北斗市・かなでーる
- 11/19(水) 乙部町・公民館(又は町民会館)
- 30(日) 美瑛町・町民センター

〈学校公演〉

- 8/26(火) むかわ町・穂別中学校
- 27(水) むかわ町・全町の小学校
- 9/01(月) 釧路市・共栄小学校
- 03(水) 比布町・全町の小学校
- 08(月) 白糠町・白糠小と茶路小
- 10/14(火) 旭川市・旭川第三小学校

〈保育園幼稚園公演〉

- 10/08(水) 函館市・人見保育園
- 17(金) 札幌市・美晴幼稚園
- 18(土) 札幌市・勤医協ほづら保育園
- 11/11(火) 札幌市・うさこ保育園
- 12(水) 札幌市・北の星白石保育園
- 25(火) 北見市・全市立保育園①(2st)
- 26(水) 北見市・全市立保育園②(2st)
- 12/19(金) 函館市・石川保育園

実施と、「矢白別平和盆踊り」

の一般公演実施他、特別事業として「寄磯浜・野田村公演」

第三号議案「二〇一四年度事業計画」では、前半期からの

収支決算報告」では、3年ぶりの公演収入目標の達成で、

ことなどが報告されました。第二号議案「二〇一三年度



今年度もよろしくお願ひします!

第一号議案「二〇一三年度事業報告」では、道内5カ所の振興局での助成事業実施を含め、百十九回(一三、四六

六人)の公演・講座等について報告されました。第四号議案「二〇一四年度

「第十六回通常総会」が11名の出席で行われました。*

第16回・「通常総会」開かれる。

昨年成果を受けて、特別事業を承認…。

さる、四月二十九日(火)

参加計画が提案され承認。

「第十六回通常総会」が11名の出席で行われました。

第四号議案「二〇一四年度収支予算」では、修繕事業の継続実施と借入の返済などが提案され承認されました。

第五号議案「役員選任」では、前期通りのメンバーが再任されました。